

平成30年8月23日  
都市経営戦略会議資料

# 国際会議の実施について

---

環境局 環境共生部  
環境未来都市推進課

## 審議事項

1. 国際会議実施の方向性について
  - (1) 背景（これまでの取組）
  - (2) 国際的な取組の経緯及び実績
  - (3) 実施に向けた考え方
2. 実施概要（骨子）について



# 1. 国際会議実施の方向性について

---

# 本事業の位置付け

## ■さいたま市総合振興計画【次期実施計画】

### 重点戦略 1

- 「次代を担う人材をはぐくむ都市 さいたま」の創造

### 重点戦略 2

- 「高齢者が元気に活躍する都市 さいたま」の創造

### 重点戦略 3

- 「イノベーションする都市 さいたま」の創造

### 重点戦略 4

- 「自然と共生し、低炭素に暮らす都市 さいたま」の創造

### 重点戦略 5

- 「みんなで安全を支える都市 さいたま」の創造

## 個別分野計画

### さいたま市MICE誘致戦略

【重点ターゲットの一つ】

- 環境分野の会議・大会・展示会

【成果指標】

- 2020年度までに新たな展示会・見本市・スポーツ大会を誘致

### さいたま市観光振興ビジョン

- さいたまMICEの推進

### 電気自動車普及施策

### 「E-KIZUNA Project」

### 地域活性化総合特区

### 「次世代自動車・スマートエネルギー特区」

- ハイパーエネルギーステーションの普及
- スマートホーム・コミュニティの普及
- 低炭素型パーソナルモビリティの普及

## ■さいたま市成長加速化戦略

- 総合特区事業の推進
- MICE推進事業
- 美園地区のまちづくり
- MICE施設の充実

## ■さいたま市まち・ひと・しごと創生総合戦略

- 「環境未来都市」の実現
- 国際観光都市戦略「さいたまMICE」

成果・実績を国内外へPR

東日本の中枢都市にふさわしい環境未来都市・MICE都市さいたまの確立!!



# 1. 国際会議実施の方向性について

---

## (1) 背景（これまでの取組）

# 【背景①】電気自動車普及施策「E-KIZUNA Project」

## E-KIZUNAサミット

さいたま市から東日本、さらには全国へ。  
EV普及を目指した**広域的な都市間ネットワークを構築**するため、  
「E-KIZUNAサミット」を平成22年度から継続的に開催。平成30年度で第9回目。

### 2017 E-KIZUNAサミットプレミアム in さいたま



### 基調講演・ビジネスマッチング



東京工業大学特命教授  
柏木孝夫氏

埼玉大学大学院教授  
久保田尚氏

### 次世代自動車試乗会等



FCVからの給電デモ

プロパイロットパーキング

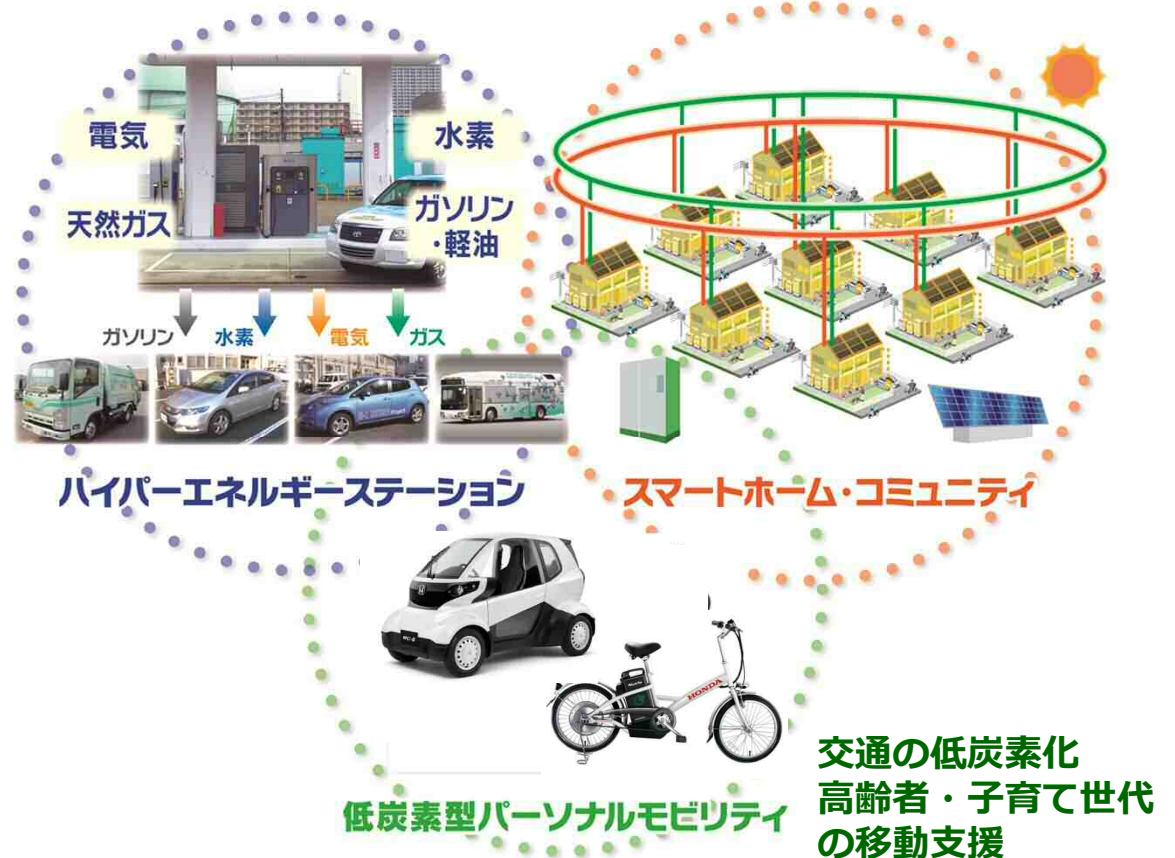
【参加者数】 約400名  
【参加団体】 52団体（3省 4県 19市 19企業 5団体 2教授）

## 暮らしやすく、活力のある都市として、継続的に成長する 『環境未来都市』を実現

- 平成23年12月22日に「次世代自動車・スマートエネルギー特区」として、国から地域指定。
- 事業期間：平成24年～（8カ年）
- 3つのプロジェクトを推進
  - ① ハイパーエネルギーステーションの普及
  - ② スマートホーム・コミュニティの普及
  - ③ 低炭素型パーソナルモビリティの普及

多様なエネルギーを災害時も供給

強く、しなやかな  
低炭素型コミュニティモデル





# 1. 国際会議実施の方向性について

---

## (2) 国際的な取組の経緯及び実績



## 国際的な取組の経緯

イクレイ主催の国際会議への参加、環境先進都市間での先進的な取組事例等の情報交換を行うとともに、国際的なイベントでの発表・講演を通じ、本市の取組を海外にアピールしていくことで、市民を始め、全国の自治体や多くの企業の認知度向上を図り、特区事業への新たな市民・企業の参入を促すことを目的に**平成25年7月加盟**。

### イクレイ (ICLEI) 概要

(1) イクレイ (ICLEI) – 「持続可能性をめざす自治体協議会」  
持続可能な開発を公約した自治体及び自治体協会で構成される  
国際的な連合組織。



(2) 本 部：ドイツ・ボン（東アジア事務局：韓国・ソウル）

(3) 加盟国：世界1,500以上の自治体が参加。

#### 【国内正会員（20自治体）】

- 3 都府県…東京都、京都府、愛知県
- 9 政令市…札幌市、川崎市、横浜市、名古屋市、京都市、広島市、北九州市、岡山市、**さいたま市（平成25年7月加盟）**
- 8 市区町…板橋区、墨田区、武蔵野市、飯田市、富山市、豊田市、下川町、松山市 （平成30年8月現在）

## 国際関連のこれまでの実績

これまで多くの国際会議の場において、市長、副市長から、本市の取組をPR

年度	内容	開催地	出席者
24	第12回昌原国際教育都市連合世界総会	韓国昌原市	市長
25	イクレイに加盟（7月）		
25	エコモビリティ2013水原【イクレイ】  市長講演 イクレイ世界事務局	韓国水原市	市長
25	ITS世界会議 東京2013へ出展		
26	京都国際環境シンポジウム	京都市	副市長
29	世界交通会議2017【イクレイ】	中国北京市	副市長
29	GCTCエキスポ2017【総務省】	ワシントン	市長

# 平成29年度の取組実績

## これまで多くの国際会議の場において、市長、副市長から、本市の取組をPR

世界交通会議2017  
(中国北京市)



イクレイとの連携



副市長講演



【さいたま市】持続可能なモビリティに関する国際首長フォーラムに参加しました

2017年6月5日中国・北京市において、「世界交通会議2017(主催: China Association for Science and Technology、支援: 中国交通運輸部)」の主要会合の一つとして、「持続可能なモビリティに関する国際首長フォーラム」が開催されました。フォーラムでは、中国、日本、韓国、オーストラリア、ドイツから、自治体やビジネスの代表者・専門家が集まり、経験や課題、優良事例の共有、意見交換が活発に行われました。日本からは、さいたま市 本間 和義 副市長が登場し、電気自動車普及施策「E-KIZUNA Project」、「次世代自動車・スマートエネルギー特区」、「低炭素型パーソナルモビリティの普及」をはじめとする先進事例を発表しました。

(写真: ©ICLEI East Asia)

>> [さいたま市発表資料](#) [詳細\(英語\)](#)



イクレイ東アジア局  
との意見交換



水原市との対談

GCTCエキスポ2017※  
(米国ワシントンD.C)



※米国国立標準技術研究所 (NIST) が主導する国際的なスマートシティのプログラム「GLOBAL CITY TEAMS CHALLENGE (GCTC)」(総務省との連携)



市長講演



Dear Friends,

I am very pleased to announce that the Global City Teams Challenge (GCTC) Expo 2017, one of the world's largest smart city events, concluded with great success and with several Japanese stakeholders contributing to the discussions and exhibitions.

For those who are unfamiliar, a "smart city" is a concept or a vision to design and develop an efficiently manageable city by applying information and communications technologies (ICT) such as IoT (Internet of Things) technology to a variety of city facilities and activities ranging from transportation to energy/water/waste management, and even to public safety.

The GCTC is an international initiative established in 2014 on smart cities led by the National Institute of Standard and Technology (NIST). Its goal is to establish and demonstrate replicable, scalable, and sustainable smart city models so that cities all over



ワシントンD.C対談



# 1. 国際会議実施の方向性について

---

## (3) 実施に向けた考え方

# 実施に向けた考え方

E-KIZUNAサミット



広域的な都市間ネットワークを構築



連携



既存の会議体等との連携

既存の会議体等と連携したE-KIZUNAサミットの  
更なる発展・拡充（国際化）

推進戦略

- 様々なステークホルダーとの連携
- 世界的ニーズに応じた多様なテーマ設定
- 市長のトップセールスによるPR活動

発展・拡充

(仮称) E-KIZUNA グローバルサミットの開催

さいたま市から  
海外へ



## 2. 実施概要（骨子）について

---

# 実施概要（骨子）

## 1 目的

国際会議の場において、海外の環境先進都市との交流・連携を通じ、本市の環境施策の取組を世界に発信していくとともに、「東日本の中枢都市にふさわしい**環境未来都市・MICE都市**さいたま」の実現に向けて実施する。

## 2 コンセプト

### ①本市の取組・成果を国内外に市長自らPR

- ◆ 電気自動車普及施策「E-KIZUNA Project」
- ◆ 地域活性化総合特区「次世代自動車・スマートエネルギー特区」
- ◆ 美園地区の「スマートシティさいたまモデル」構築

### ② E-KIZUNAサミットの更なる発展（国際化）

### ③これまで築いたネットワーク（絆）との更なる連携

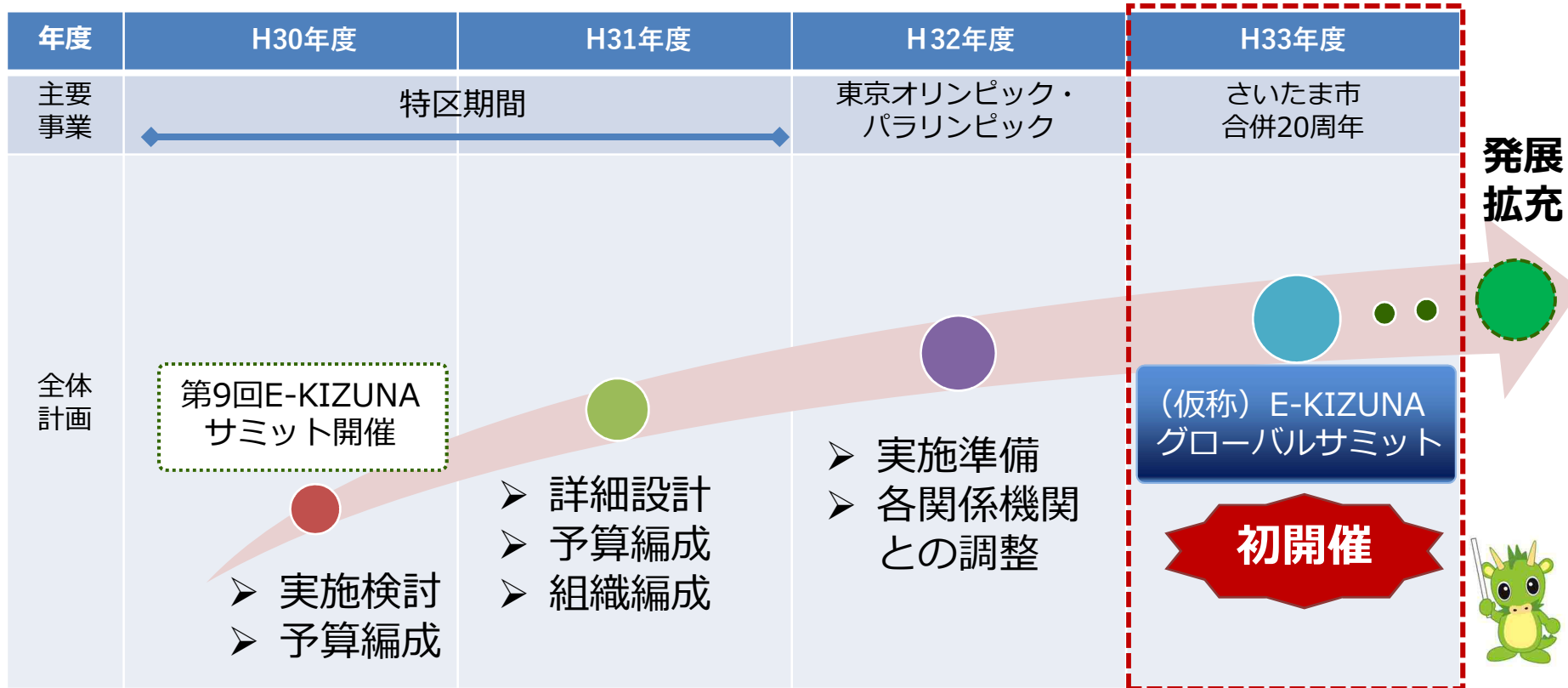
### ④本市の認知度・プレゼンスの向上

### ⑤市内への経済波及効果

**MICE戦略との連携**

# 実施概要（骨子）

## 3 実施スケジュール（予定）



## 4 実施エリア（予定）

- さいたま新都心・大宮駅周辺
- 美園地区等

## 5 事業規模（予定）

会議出席者 300人程度（傍聴者除く）  
 国内外自治体首長、企業幹部、有識者等  
 ※海外自治体 50か国（100人）



# 実施概要（骨子）

## 6 実施イメージ

### 会議

- 海外都市と連携  
美園地区PR
- 基調講演  
分科会  
学術会議
- テクニカルビジット  
スマートホーム  
実証棟（桜区）他  
その他会議場  
(新)市民会館おおみや

### スマートシティさいたまモデル

共通プラットフォーム  
さいたま版

スマコミ モデル街区

レジリエンス認証制度

さいたま版グリーン  
ニューディール事業

グリーンボンド活用

デジタルグリッド  
ルーター（DGR）の開発

視察候補

浦和美園

### 電気の止まらない街

地産地消型再生可能エネルギーの活用

- メガソーラー
- 地中熱の活用

避難所へのV2Xシステムの整備

- 新エネルギー政策の推進
- 防災対策（BCP）の強化

EVパッカー車

避難所等への電力供給

EV等

スマートフォンの活用

子どもの見守り事業

- IoTデバイス活用
- 車しゃ間通信

新たなPMの社会実装

### 会場間アクセス

歩行者専用道路

オリンピック・パラリンピック レガシー

- 次世代バス（EVバス）
- 超急速充電器（非常用電源）
- 駅、スタジアム間の利便性向上
- 歩行者専用道の緑地化
- 自動運転・モビリティ走行空間の整備
- ワイヤレス（非接触）充電

### パーソナルモビリティの展開

マルチモビリティシェアリング

- 超小型モビリティ
- 自転車の利活用

## 7 今後の方針

- 会議の詳細については、今後、イクレイや国（環境省等）との連携を図りながら、国内外の動向や関係部局、有識者等の意見を踏まえ、検討・精査していきます。
- 開催に向けては、最小の経費で、最大の効果を挙げられるよう、各局のノウハウ等を参考にしながら調整していきます。